Windows Macintosh

Map Utility

Ver.1.8

使用説明書

● 本使用説明書上のおことわり

- Windows 7 を使用した画面を例に説明しています。
- GPS レシーバーや、カメラの名称をアイコンで示しています。
  例：GPS レシーバー GP-E2 → GP-E2
  EOS 6D Mark II → 6D Mk II
- ▶ の手順は、メニューの選択順序を示しています。
  （例：メニューの［ファイル］▶［終了］を選ぶ）
- [ ] 内の語句は、パソコン画面上に表示されるメニューやボタン、画面の名称を示しています。
- p.** の ** は、参照ページを示しています。
  また、クリックすると参照ページが表示されます。
- ：注意事項です。
- ：補足説明です。

● ページの移動

- 画面右下のマークをクリックします。
  - ：次ページ
  - ：前ページ
  - ：ひとつ前に表示していたページに戻る

© CANON INC. 2017 CCS-M175MUJ-020

はじめに

Map Utility（マップ ユーティリティ） Ver.1.8 は、キヤノン製 GPS[*1] レシーバーを装着した EOS DIGITAL カメラや、GPS 機能を内蔵した EOS DIGITAL カメラで撮影した画像の撮影場所を閲覧するためのソフトウェアです。なお、GPS レシーバー GP-E2 を装着した EOS DIGITAL カメラや対象 EOS DIGITAL カメラ[*2] で撮影した画像は、移動軌跡も含めて閲覧することができます。

[*1] GPS　Global Positioning System: 人工衛星を利用して現在地がわかるシステム

[*2] 当使用説明書内の EOS 6D、6D 表記は、EOS 6D（WG）（GPS 機能内蔵モデル）を示しています。

Map Utility Ver.1.8 でできること

当ソフトウェアは、主に次のことができます。

画像の撮影場所の表示

- 位置情報が記録された画像を読み込み、その撮影場所を地図上に表示します。

GPS ログファイルの取り込み GP-E2

- GP-E2 と接続することで、GPS ログファイルをパソコンに取り込み、保存することができます。

GPS ログファイルの情報の編集 GP-E2 6D Mk II 6D 7D Mk II 1D X Mk II 5D Mk IV

- 取り込んだ GPS ログファイルの情報を編集することができます。

移動軌跡の表示 GP-E2 6D Mk II 6D 7D Mk II 1D X Mk II 5D Mk IV

- GP-E2 や対象 EOS DIGITAL カメラの GPS ログファイルを取り込むことで、撮影場所間の移動軌跡を地図上に表示できます。

位置情報の付加 GP-E2

- GP-E2 の GPS ログファイルを使って、GPS 情報のない画像に位置情報を付加することができます。

ログ取得間隔の変更、ログ情報の消去 GP-E2

- GP-E2 と接続することで、GP-E2 のログ取得間隔の変更やログ情報の消去ができます。

GPS レシーバーのファームの更新 GP-E2

- GP-E2 と接続することで、GP-E2 のファームウェアを最新のバージョンに更新することができます。

その他の操作

- 地図上の任意の場所を検索したり、表示されている撮影場所などの情報を Google Earth™ 形式のファイルに保存できます。
- 対象 EOS DIGITAL カメラの GPS ログファイルのパソコンへの取り込みとログ情報の消去は、対象 EOS DIGITAL カメラ付属の EOS DIGITAL Solution Disk 収録のソフト EOS Utility で行います。

- 6D Mk II に対応する Map Utility は、Ver.1.8 以上です。
- 5D Mk IV に対応する Map Utility は、Ver.1.7.2 以上です。
- 1D X Mk II に対応する Map Utility は、Ver.1.7 以上です。
- 7D Mk II に対応する Map Utility は、Ver.1.5.3 以上です。
- このソフトウェアでは、Google マップ ™ 地図サービスを使用して地図上に画像や軌跡を表示しているため、画像や GPS ログファイルに含まれる位置情報がサービス提供会社へ送信されます。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金が、別途かかります。
- GPS 機能を使って撮影した画像や GPS ログファイルには、個人を特定する情報が含まれていることがあります。他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境にアップロードするときは、十分ご注意ください。
- Digital Photo Professional の画像編集と、Map Utility の操作を同時に行わないでください。画像の編集内容が、正しく保存されないことがあります。

動作環境

Windows

OS（オペレーティングシステム）	Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7*
機　種	上記 OS がプリインストールされていて、USB 接続部が標準装備されていること。インターネットに接続できる環境が必要
CPU（シーピーユー）	Pentium 1.6 GHz 以上
RAM（メモリー）	Windows 10、8.1、8（64 bit）：2 GB 以上 Windows 10、8.1、8（32 bit）：1 GB 以上 Windows 7（64 bit）：2 GB 以上 Windows 7（32 bit）：1 GB 以上
インターフェース	USB
ディスプレイ	1024 × 768 ドット以上

* Service Pack 1 に対応

Macintosh

OS（オペレーティングシステム）	Mac OS X 10.10 ～ 10.12
機　種	上記 OS がプリインストールされていて、USB 接続部が標準装備されていること。インターネットに接続できる環境が必要
CPU（シーピーユー）	Core 2 Duo 以上
RAM（メモリー）	2 GB 以上
インターフェース	USB
ディスプレイ	1024 × 768 ドット以上

対応ファイル

画像ファイル

ファイルの種類			拡張子
静止画	RAW 画像	キヤノン独自の RAW フォーマット画像	.CR2
	JPEG 画像	Exif 2.2、2.21、2.3 に準拠した JPEG 画像	.JPG
動画		2012 年 1 月以降に発売された EOS DIGITAL カメラで撮影した動画 *	.MOV .MP4

* EOS Kiss X80、EOS Kiss X70 で撮影した動画は対象外

GPS ログファイル

ファイルの種類	拡張子
GPS レシーバー GP-E2、対象 EOS DIGITAL カメラで記録した NMEA テキストフォーマットの GPS ログファイル	.LOG

目　次

はじめに 2
Map Utility Ver.1.8 でできること 2
動作環境 3
対応ファイル 3
Map Utility を立ち上げる 5
画像の位置情報を表示する 6
GPS レシーバーから GPS ログファイルを取り込む 7
パソコンから GPS ログファイルを選択して読み込む 9
GPS ログファイルの情報を編集する 9
不要な GPS ログファイルをリストから削除する 10
画像に位置情報を追加する 11
画像に GPS 位置情報を自動追加する 12
GPS レシーバーのファームウェアを更新する 13
位置情報の更新間隔（時間）を設定する 14
GPS レシーバーの GPS ログファイルを削除する 16
環境設定 17
メイン画面の機能一覧 19
資　料 21
　手順どおりにインストールできないときは 21
　ソフトウェアを削除する（アンインストール） 21

Map Utility を立ち上げる

Windows

タスクバー（デスクトップ下部に表示されるバー）の**［スタート］**メニュー▶**［すべてのプログラム］**▶**［Canon Utilities］**▶**［Map Utility］**フォルダ▶**［Map Utility］**アイコンを選ぶ

➜ Map Utility が立ち上がります。

Macintosh

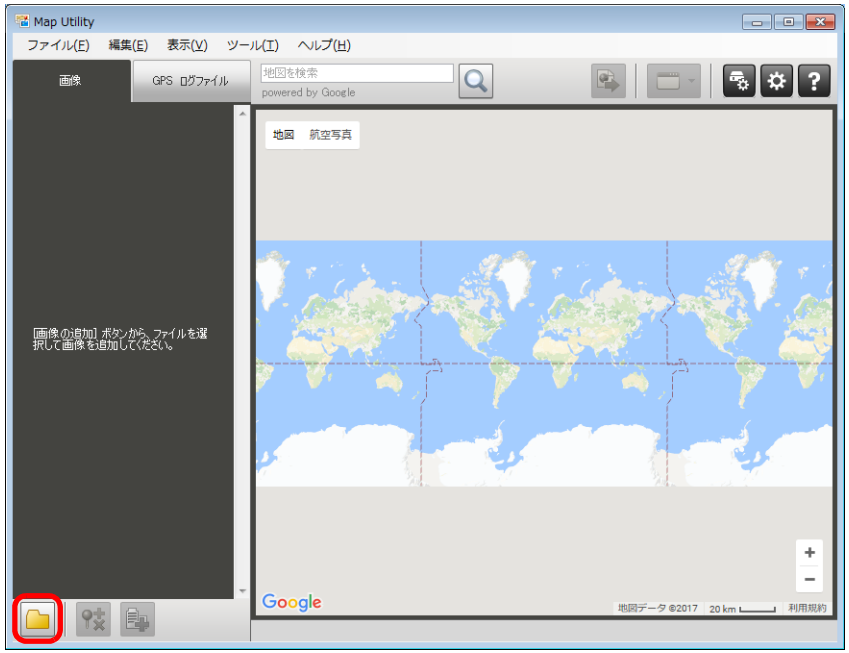
［アプリケーション］フォルダ▶**［Canon Utilities］**フォルダ▶**［Map Utility］**フォルダの順に開き、**［Map Utility］**アイコンをダブルクリックします。

➜ Map Utility が立ち上がります。

画像の位置情報を表示する

Map Utility に画像を読み込み、位置情報の表示を行います。

1 メイン画面の【画像】タブを選択し、[ ]ボタンを押し、表示される画面で、画像ファイルの保存場所とファイル名を指定して【開く】ボタンを押す



地図データ ©2017

➜画像ファイルが読み込まれ、【画像】タブの画像リスト上に追加されます。地図上に画像の撮影場所が赤いマーカーで表示されます。

●画像リスト上の画像ファイル、またはマーカーをクリックすると、地図上に画像が表示されます。

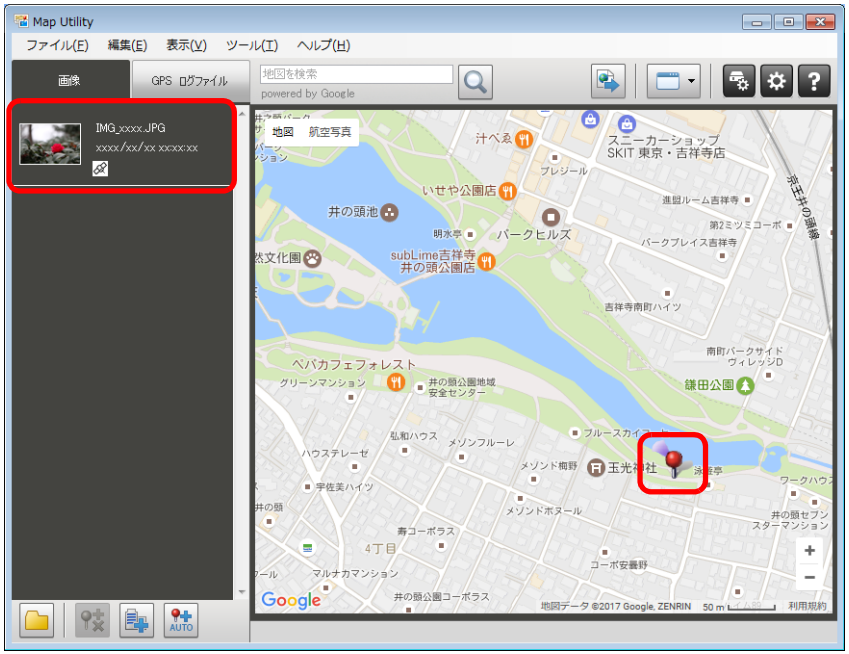
●画像リスト上の画像ファイルの位置情報の時間と、GPS ログファイルリスト上の GPS ログファイルの時間がマッチしたときは、マーカーをクリックすると GPS ログファイルの移動軌跡が合わせて表示されます。

●撮影方向の情報が付加されている画像ファイルは、撮影方向を示すマーカーが表示されます。*

* 対象機種で撮影された MP4 形式の動画は、撮影方向を示すマーカーが表示されません。

●画像リスト上の画像ファイル、または地図上に表示されたサムネイル画像をダブルクリックすると、拡大表示が行われます。

●画像リスト上の画像ファイルを選択して、メニューの【表示】から【位置情報詳細の表示】を選択すると、位置情報の詳細を確認することができます。



地図データ ©2017 Google, ZENRIN

●画像ファイルを、画像リスト上に直接ドラッグ & ドロップして追加することができます。

●お使いのパソコンがインターネットに接続されていない環境では、Map Utility の地図は表示されません。

GPS レシーバーから GPS ログファイルを取り込む

GP-E2

GPS レシーバー GP-E2 の内蔵メモリーに保存されている GPS ログファイルを、Map Utility に取り込むことができます。取り込まれたログ情報は、パソコン上に保存されます。

1 GP-E2 とパソコンを接続する

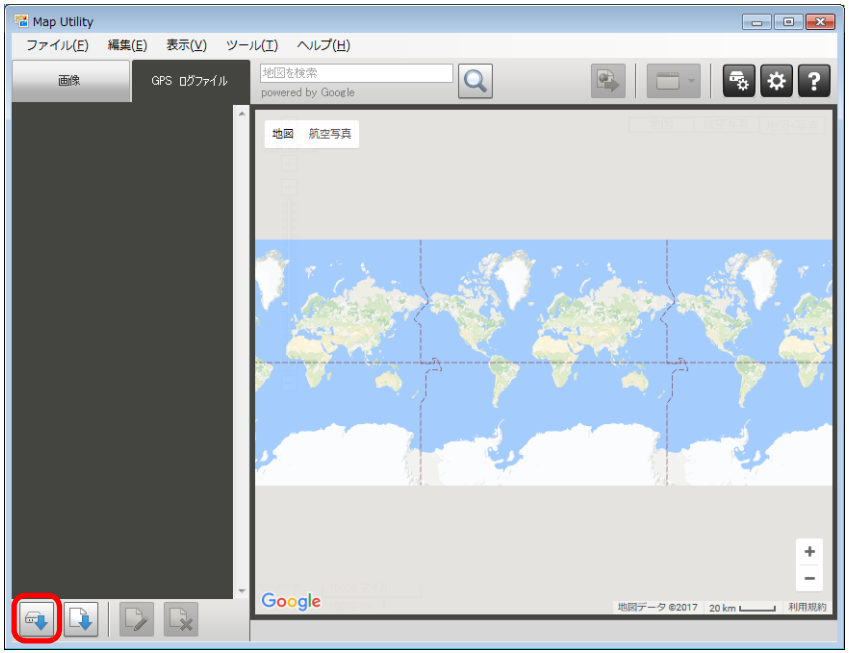
GP-E2 の電源を入れ、**[DIGITAL]** 端子とパソコンの USB 接続部を接続します。

接続にはカメラ付属、または別売のキヤノン純正のインターフェースケーブルをお使いください。

- ケーブルの大きい方のプラグを、パソコンの USB 接続部に差し込みます。USB 接続部の位置や向きについては、パソコンの使用説明書を参照してください。
- ケーブルの小さい方のプラグを、GP-E2 の **[DIGITAL]** 端子に差し込みます。GP-E2 の **[DIGITAL]** 端子については、GPS レシーバー GP-E2 の使用説明書を参照してください。

2 Map Utility を立ち上げる (p.5)

3 メイン画面の［GPS　ログファイル］タブを選択し、［ ］ボタンを押し、表示される画面の［次へ］ボタンを押す



地図データ ©2017

➜ GPS ログファイルがパソコンに取り込まれ、**[GPS ログファイル]** タブの GPS ログファイルリスト上に追加されます。

- 取り込まれた GPS ログファイルはパソコンの以下の場所に保存されます。

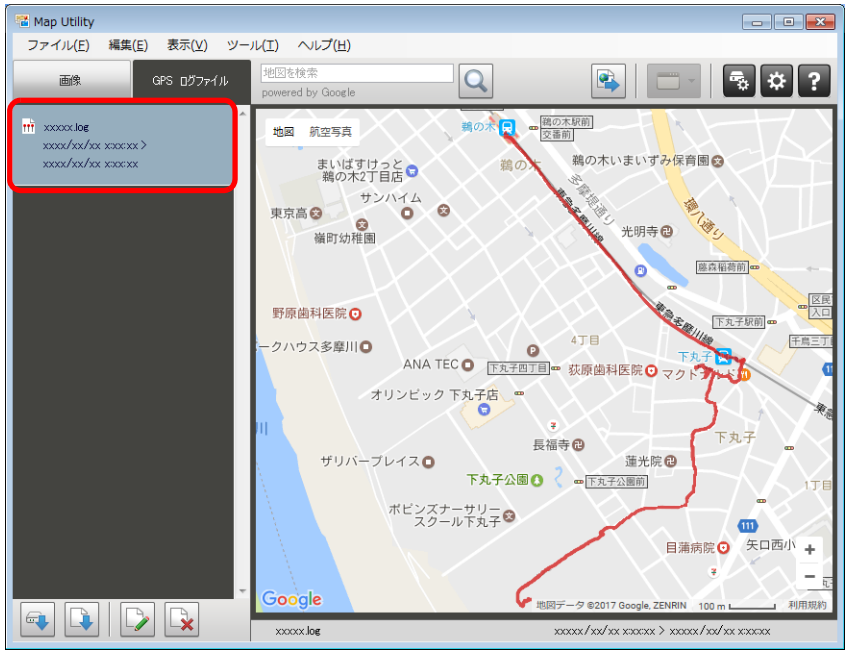
Windows

パソコンのドキュメントフォルダ内の［Canon Utilities］▶［GPS Log Files］フォルダ

Macintosh

［書類］▶［Canon Utilities］▶［GPS Log Files］

- GPS ログファイルリスト上の GPS ログファイルをクリックすると、地図上に移動軌跡が表示されます。

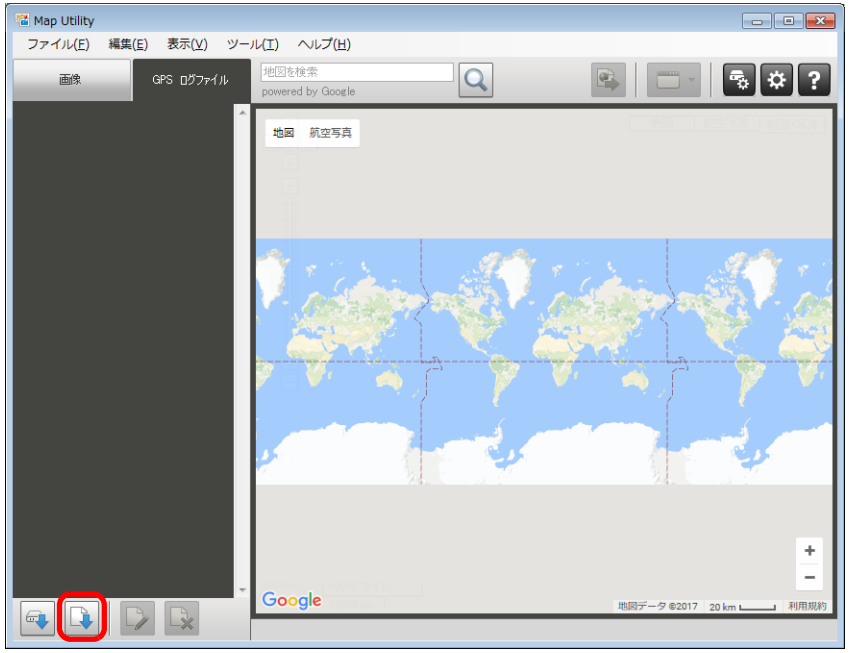


地図データ ©2017 Google, ZENRIN

パソコンから GPS ログファイルを選択して読み込む

パソコンに保存されている GPS ログファイルを Map Utility に読み込むことができます。

1 メイン画面の［GPS ログファイル］タブを選択し、［ ］ボタンを押し、表示された画面で、GPS ログファイルの保存場所とファイル名を指定して［開く］ボタンを押す



地図データ ©2017

➜ GPS ログファイルが読み込まれます。

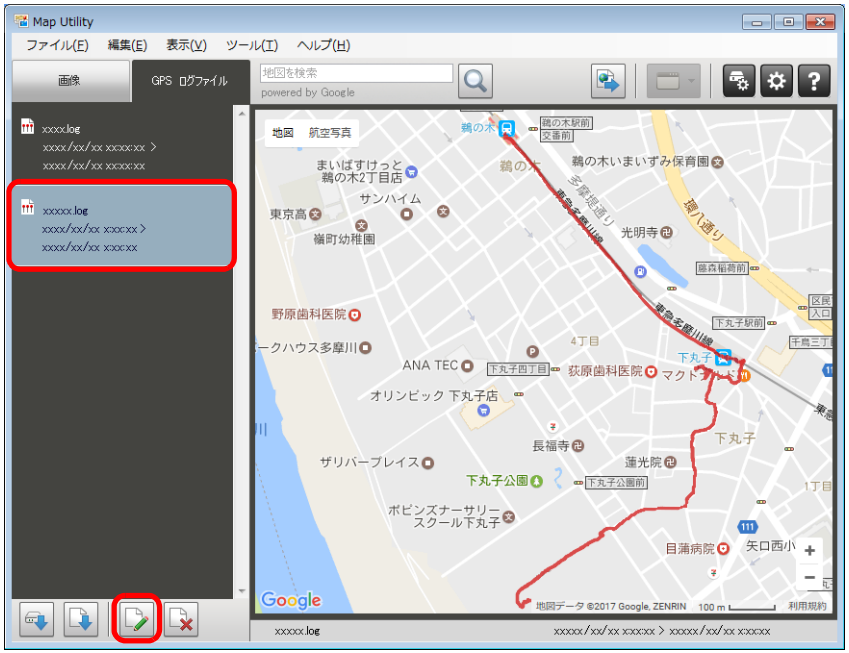
➜ 取り込みが完了すると GPS ログファイルリストに追加されます。リスト上の GPS ログファイルをクリックすると、地図上に移動軌跡が表示されます。

GPS ログファイルの情報を編集する

GP-E2　6D Mk II　6D　7D Mk II　1D X Mk II　5D Mk IV

Map Utility に取り込んだ GPS ログファイルの情報を編集することができます。編集できる項目は、ログの［名前］と［時差］(現地時間とグリニッジ標準時との時差) です。［時差］は、カメラの［エリア設定］が正しく設定されていない場合などに利用します。

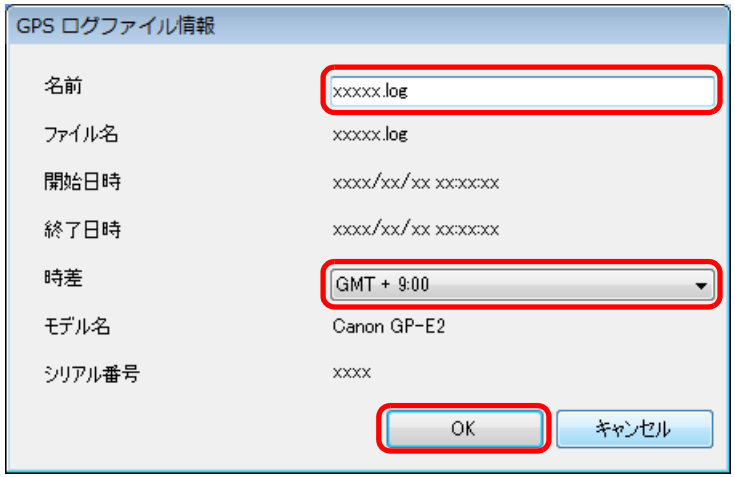
1 メイン画面の［GPS ログファイル］タブを選択し、編集するログファイルを選択の上、［ ］ボタンを押す



地図データ ©2017 Google, ZENRIN

➜［GPS ログファイル情報］画面が表示されます。

2 GPS ログファイルの情報を編集して、【OK】ボタンを押す

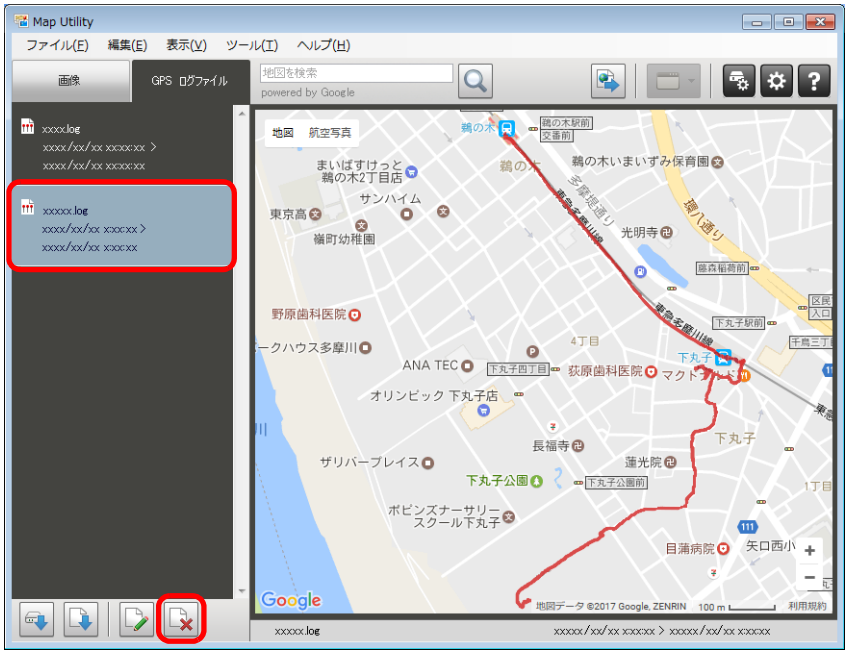


➜ 編集結果が、GPS ログファイルに反映されます。

不要な GPS ログファイルをリストから削除する

不要な GPS ログファイルを、GPS ログファイルリストから削除することができます。ただし、GPS ログファイル自体はパソコンから削除されません。

1 メイン画面の【GPS ログファイル】タブを選択し、リストから削除するログファイルを選択して、【 】ボタンを押す



地図データ ©2017 Google, ZENRIN

2 表示された画面の【OK】ボタンを押す

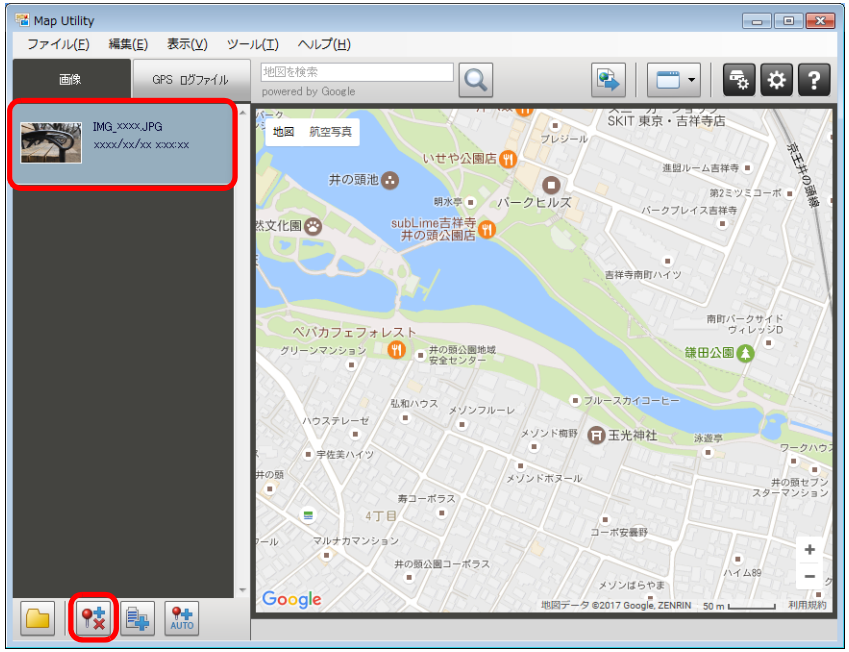
➜ 選択したログファイルが GPS ログファイルリストから削除されます。

画像に位置情報を追加する

位置情報のない画像に位置情報を追加することができます。

1 **画像ファイルを読み込む** (p.6)

2 **メイン画面の【画像】タブを選択し、画像を選んで［ ］ボタンを押す**



地図データ ©2017 Google, ZENRIN

3 **マウスカーソルで地図上の任意の位置をクリックし、表示されたダイアログの【保存】ボタンを押す**



地図データ ©2017 Google, ZENRIN

➜ 青いマーカーが赤いマーカーに変わり、画像ファイルに位置情報が付加されます。

- 位置情報の付加されている画像ファイルを選択して、［ ］ボタンを押すと、画像ファイルに付加された位置情報を削除することができます。
- 地図エリアの上部の検索ボックスに地名を入力すると、その地名の候補がリストボックスに表示されます。目的の場所を選択してから［ ］ボタンを押すと、地図の表示が移動します。画像の撮影場所の検索に便利です。

画像に GPS 位置情報を自動追加する

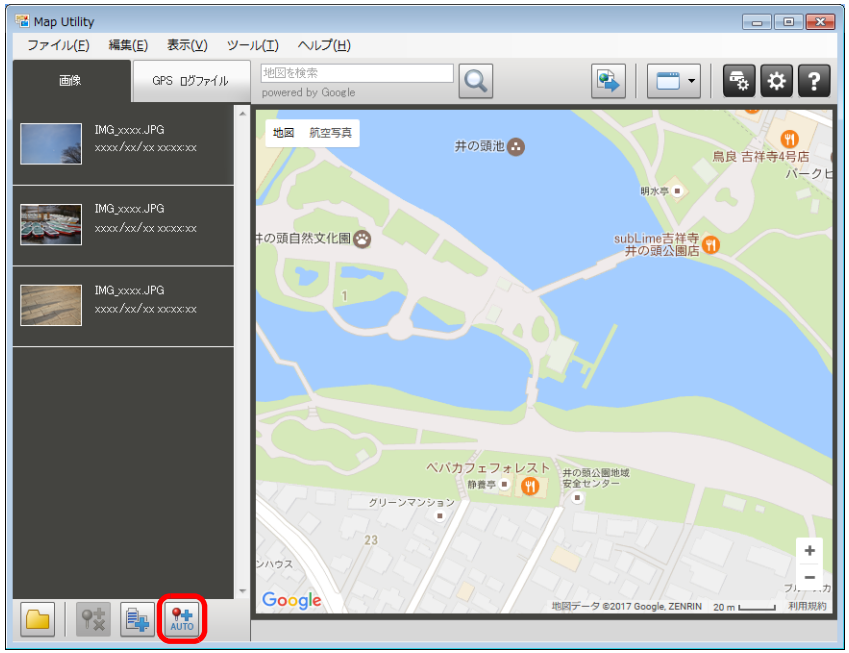
GP-E2

GP-E2 の GPS ログ情報を使って、GPS 位置情報のない画像に位置情報を自動追加することができます。

1 画像ファイルを読み込む (p.6)

2 GPS ログファイルを読み込む (p.7、p.9)

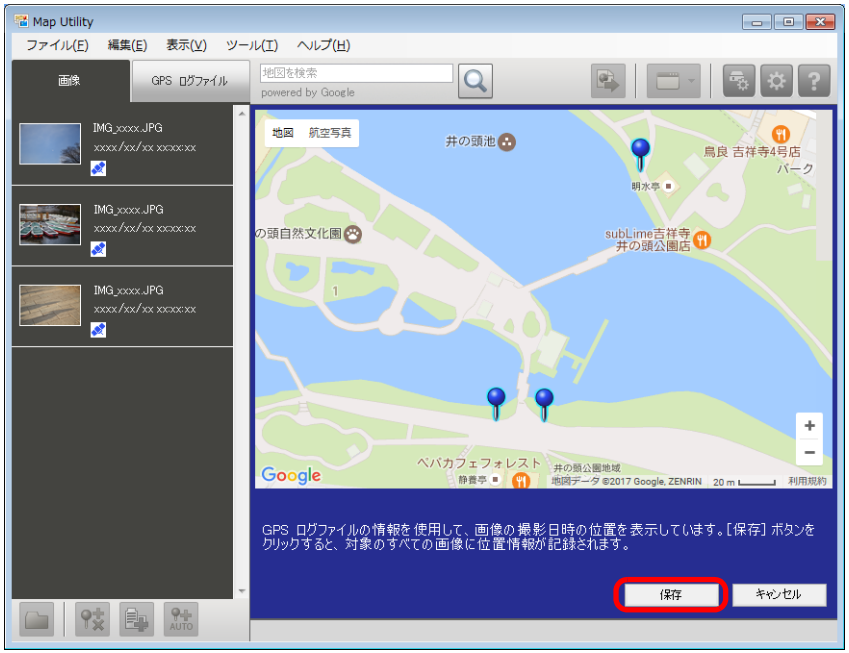
3 メイン画面の【画像】タブを選択し、【AUTO】ボタンを押す



地図データ ©2017 Google, ZENRIN

➜ 画像ファイルと GPS ログファイルの時間がマッチしたら、そのログの緯度と経度が青いマーカーで表示されます。

4 【保存】ボタンを押す



地図データ ©2017 Google, ZENRIN

➜ 青いマーカーが赤いマーカーに変わり、画像ファイルに GPS 位置情報が付加されます。

- GPS 位置情報はその撮影時間に一番近い計測点の値です。
- 画像ファイルに GPS 位置情報を追加後、地図上のマーカーをクリックすると GPS 測位した移動軌跡が表示されます。

GPS レシーバーのファームウェアを更新する

GP-E2

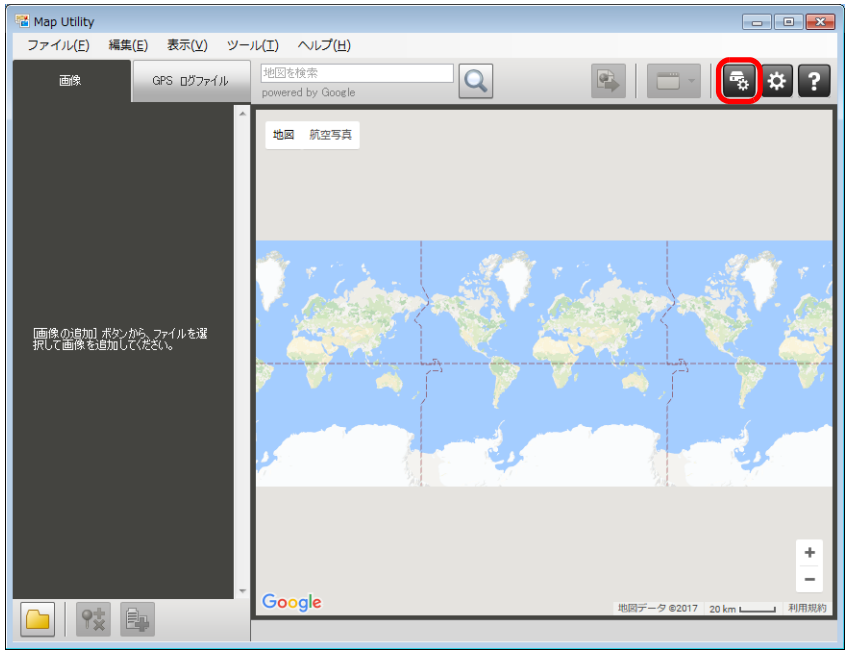
GPS レシーバー GP-E2 を必要に応じて、最新ファームウェアに更新することができます。ファームウェアはあらかじめ、キヤノンホームページからダウンロードしておきます。

なお、ファームウェアのダウンロードには、インターネット接続環境が必要です。

1 **GP-E2 とパソコンを接続する** (p.7)

2 **Map Utility を立ち上げる** (p.5)

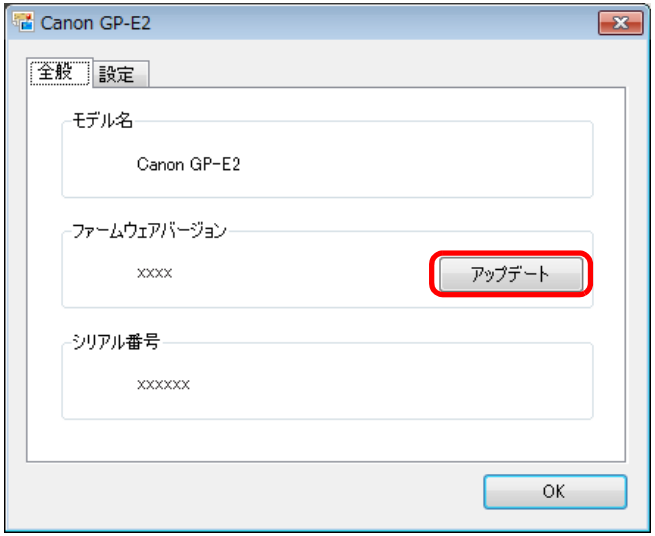
3 **メイン画面の［ ］ボタンを押す**



地図データ ©2017

➜ 設定画面が表示されます。

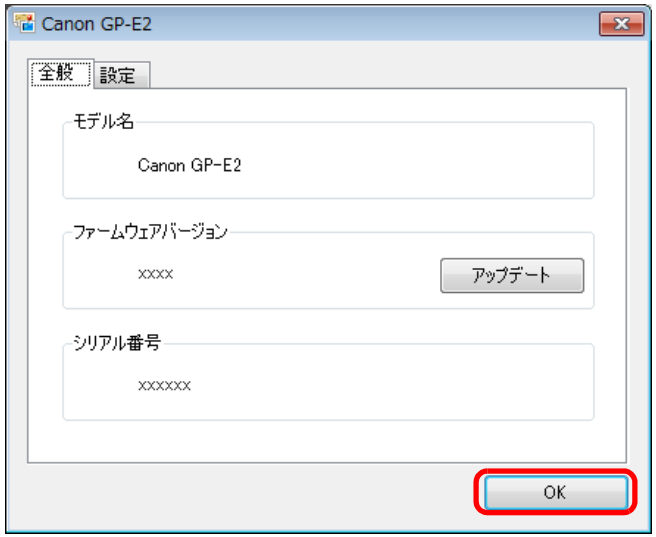
4 **設定画面の［全般］タブを選択して、［ファームウェアバージョン］の［アップデート］ボタンをクリックする。次に、表示された画面で、ファームウェアの保存場所とファイル名を指定して、［開く］ボタンを押す**



➜ ファームウェアの更新が開始されます。

● ファームウェアの更新が完了すると、ファームアップ完了のメッセージが表示されます。
表示される画面の［OK］ボタンを押して画面を閉じます。

5 設定画面の［OK］ボタンを押す



➜設定画面が閉じます。

位置情報の更新間隔（時間）を設定する

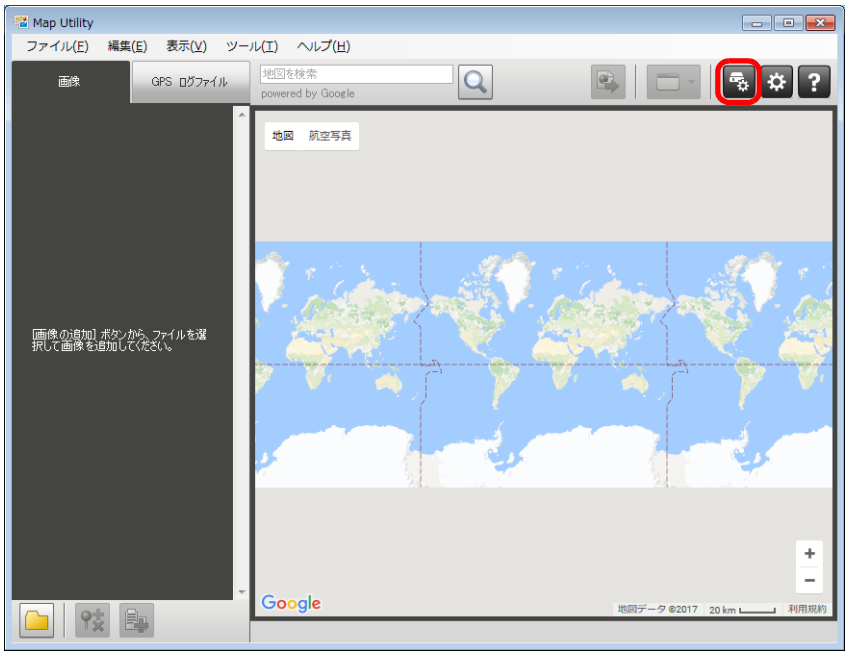
GP-E2

GPS レシーバー GP-E2 の位置情報の更新間隔（時間）を設定できます。更新間隔が短いほど、撮影時の位置情報が正確に記録されます。ただし、電池の消耗は早くなります。

1 GP-E2 とパソコンを接続する （p.7）

2 Map Utility を立ち上げる （p.5）

3 メイン画面の［ ］ボタンを押す

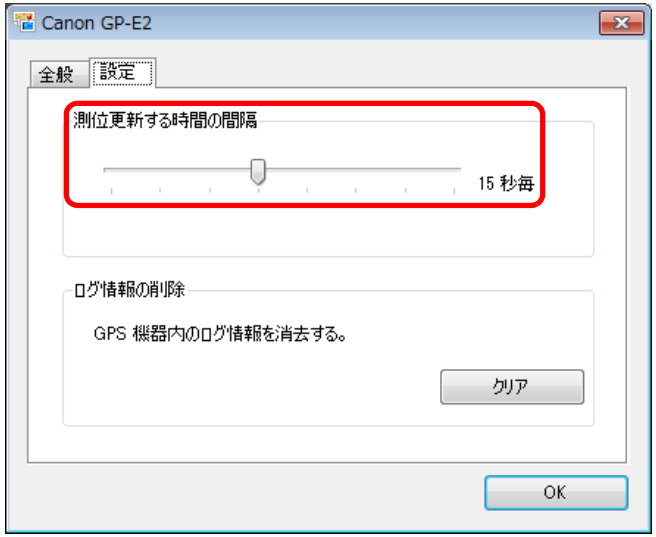


地図データ ©2017

➜設定画面が表示されます。

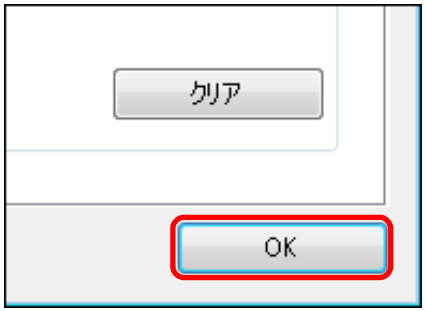
4 設定画面の【設定】タブを選択し、スライダー上で、位置情報の更新間隔を設定する

● 1 秒毎から 5 分毎まで、8 段階の設定を行うことができます。



5 【OK】ボタンを押す

➜ 設定が反映されて、画面が閉じます。



GPS レシーバーの GPS ログファイルを削除する

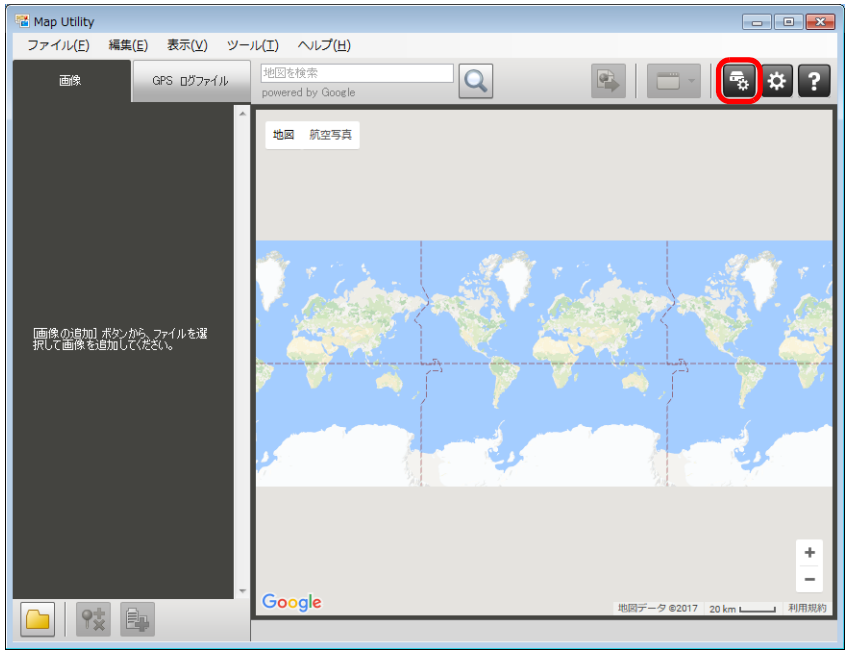
GP-E2

GPS レシーバー GP-E2 の内蔵メモリーに保存されている GPS ログファイルの削除を行うことができます。

1 **GP-E2 とパソコンを接続する** (p.7)

2 **Map Utility を立ち上げる** (p.5)

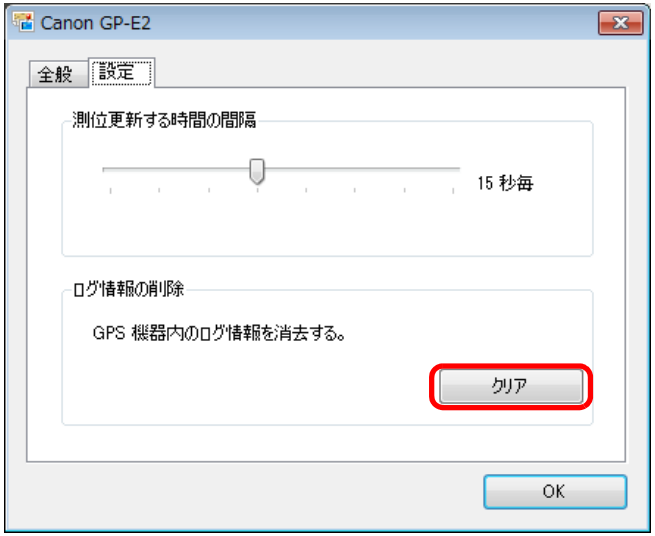
3 **メイン画面の［ ］ボタンを押す**



地図データ ©2017

➜ 設定画面が表示されます。

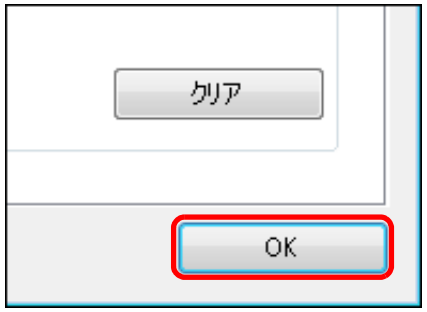
4 **設定画面の【設定】タブを選択して【ログ情報の削除】の【クリア】ボタンを押し、表示される画面の【OK】ボタンを押す。**



➜ GPS ログファイルが削除されます。

● GPS ログファイルの削除が完了すると、削除完了のメッセージが表示されます。
表示される画面の【OK】ボタンを押して画面を閉じます。

5 設定画面の［OK］ボタンを押す



➜設定画面が閉じます。

環境設定

GP-E2 6D Mk II 6D 7D Mk II 1D X Mk II 5D Mk IV

環境設定では、移動軌跡の表示条件の設定を行います。表示条件を設定することで、GPS ログファイルに記録されたデータから、条件を絞って移動軌跡を表示することができます。設定可能な表示条件は次の 2 点です。

- 測位に使用した衛星数：測位に使用した衛星の数が多いほど、精度の高い位置情報となります。
- HDOP（水平精度劣化度）：測位時の衛星配置から算出した値です。この値が小さいほど、精度の高い位置情報であることを表します。

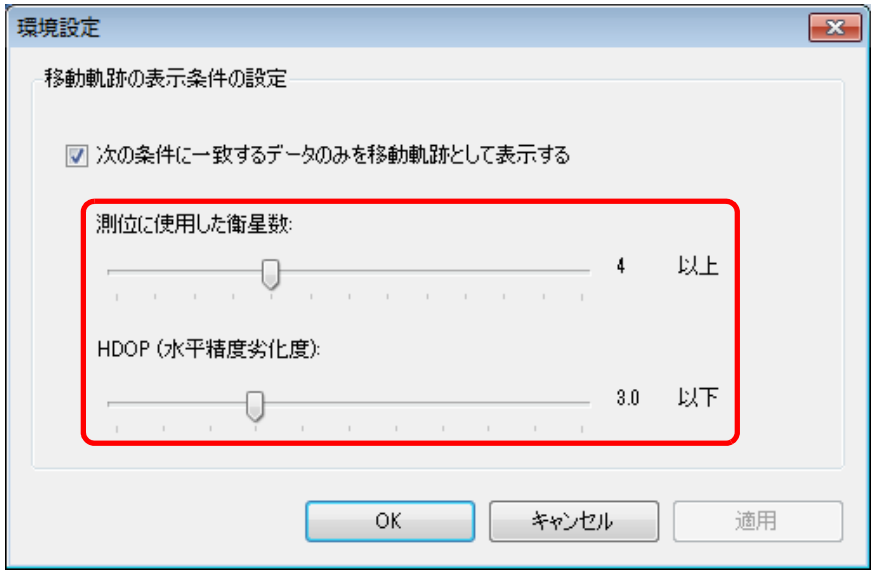
1 Map Utility を立ち上げる (p.5)

2 メイン画面の［ ］ボタンを押す

➜**［環境設定］**画面が立ち上がります。

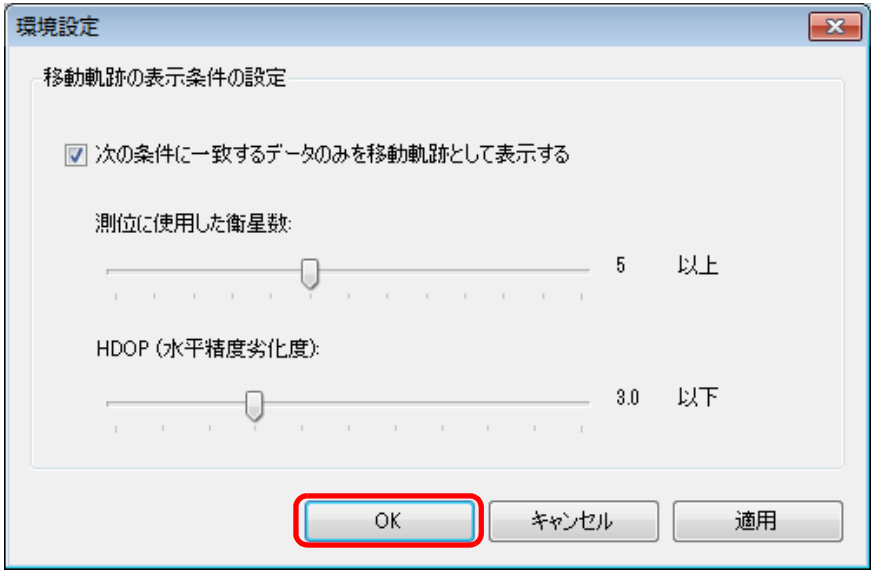
- **［次の条件に一致するデータのみを移動軌跡として表示する］**チェックボックスにチェックが入っていない場合は、チェックを入れます。

3 [測位に使用した衛星数]、[HDOP（水平精度劣化度）] をスライダー上で設定する



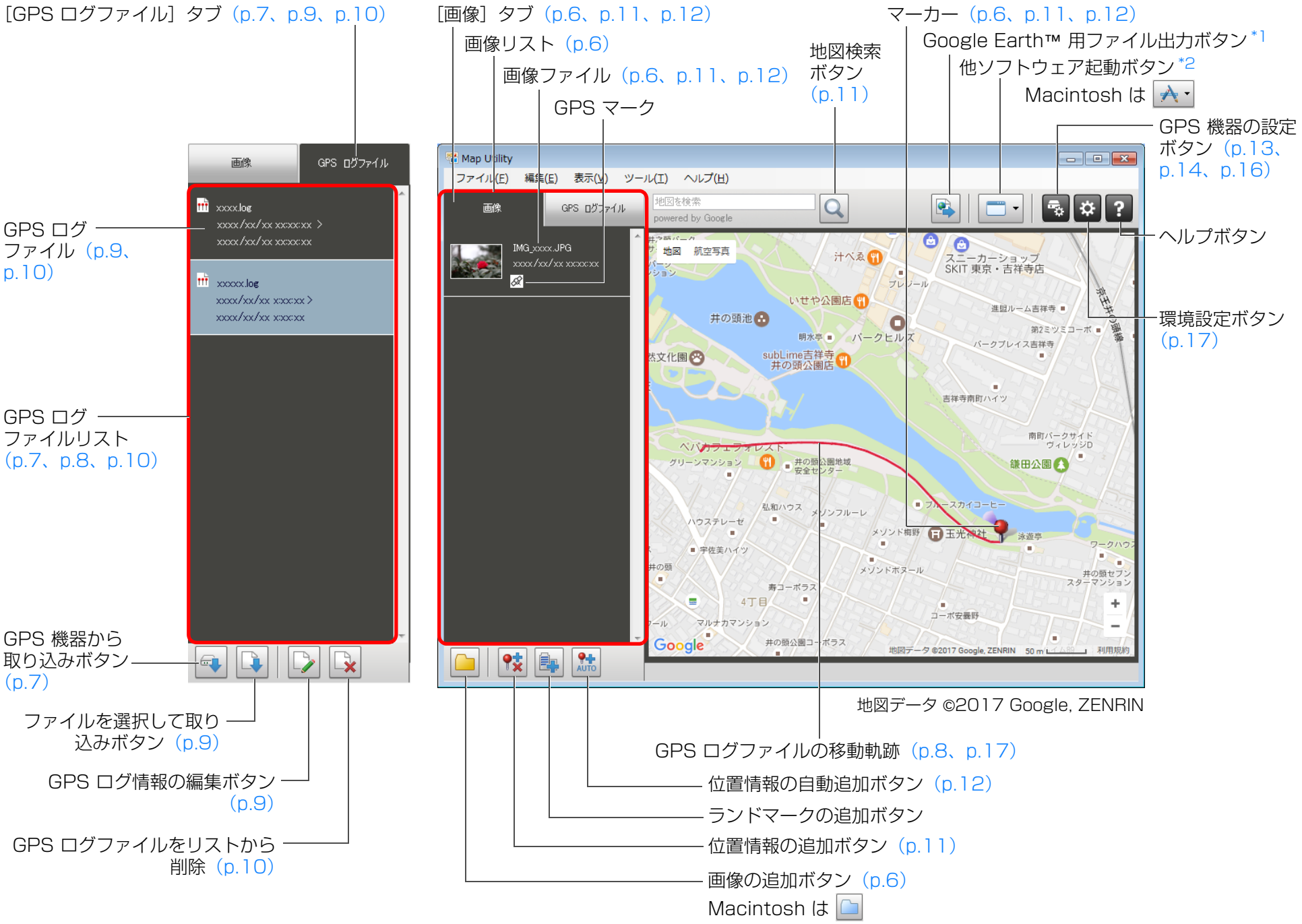
4 [OK] ボタンを押す。

→ 設定が反映されて、画面が閉じます。



[適用] ボタンを押すと、画面が閉じずに設定のみ反映されるため、効果の確認に便利です。

メイン画面の機能一覧


［GPS ログファイル］タブ（p.7、p.9、p.10）
［画像］タブ（p.6、p.11、p.12）
画像リスト（p.6）
画像ファイル（p.6、p.11、p.12）
GPS マーク
地図検索ボタン（p.11）
マーカー（p.6、p.11、p.12）
Google Earth™ 用ファイル出力ボタン*1
他ソフトウェア起動ボタン*2
Macintosh は
GPS 機器の設定ボタン（p.13、p.14、p.16）
ヘルプボタン
環境設定ボタン（p.17）
GPS ログファイル（p.9、p.10）
GPS ログファイルリスト（p.7、p.8、p.10）
GPS 機器から取り込みボタン（p.7）
ファイルを選択して取り込みボタン（p.9）
GPS ログ情報の編集ボタン（p.9）
GPS ログファイルをリストから削除（p.10）
GPS ログファイルの移動軌跡（p.8、p.17）
位置情報の自動追加ボタン（p.12）
ランドマークの追加ボタン
位置情報の追加ボタン（p.11）
画像の追加ボタン（p.6）
Macintosh は
画像
GPS ログファイル
Map Utility
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)
地図を検索
powered by Google
地図 航空写真
IMG_xxxx.JPG
xxxx/xx/xx xx:xx:xx
xxxx.log
xxxx/xx/xx xx:xx:xx
xxxx/xx/xx xx:xx:xx
xxxxx.log
xxxx/xx/xx xx:xx:xx
xxxx/xx/xx xx:xx:xx
AUTO
Google
地図データ ©2017 Google, ZENRIN

*1 Google Earth™ 用ファイルを出力
画像リスト中の画像と位置情報を、Google Earth™ で開くことができる汎用地図フォーマット形式のファイルとして出力します。**[名前を付けて保存]** ダイアログボックスが表示されますので、ファイルの保存先を指定して **[OK]** ボタンを押します。
出力されたファイルは、拡張子 .kmz のファイルとなります。
このファイルを利用するには、Google Earth™ のインストールが必要です。なお、お使いの Google Earth™ のバージョンによっては正しく表示されないことがあります。
*2 他のソフトウェアを起動
連携可能なソフトウェアを起動します。このボタンを押すと、Map Utility が連携可能なソフトウェアを選択するメニューが表示されます。
ソフトウェア名を選択して起動し、Map Utility で表示していた画像を開くことができます。
なお、Map Utility が連携可能なソフトウェアがない場合は、当ボタンは表示されません。

手順どおりにインストールできないときは

Windows

- ユーザー設定を管理者権限（**[コンピューターの管理者]**、**[管理者]**、[Administrator] など）に設定してください。管理者権限以外に設定していると、インストールすることができません。管理者権限の詳しい設定方法は、使用しているパソコンの使用説明書などを参照してください。

Macintosh

- 管理者権限のあるアカウントでログインしないと、ソフトウェアをインストールすることができません。管理者権限のあるアカウントでログインしなおしてください。ログイン方法、管理者の設定方法については、使用している Macintosh や Mac OS X の使用説明書などを参照してください。

ソフトウェアを削除する（アンインストール）

- ソフトウェアの削除をはじめる前に、立ち上がっているすべてのソフトウェアを終了してください。
- ソフトウェアの削除を行うときは、管理者権限でログインしてください。
- ソフトウェアを削除したあとは、必ずパソコンを再起動してください。パソコンが正しく動作しないことがあります。また、再起動をしないでソフトウェアを再インストールすると誤動作の原因になります。

Windows

Windows 7

1 **[ ] ボタン▶[すべてのプログラム]▶[Canon Utilities]▶[Map Utility]▶[Map Utility アンインストール] を選ぶ**

2 **表示される画面内容にしたがって、削除をすすめる**

→ ソフトウェア（Map Utility）が削除されます。

Windows 10、Windows 8.1、Windows 8

- OS 標準のソフトウェアのアンインストール方法にしたがって削除してください。

Macintosh

1 ソフトウェアが保存されているフォルダを表示する

➔ [Canon Utilities] フォルダを開きます。



2 [Map Utility] フォルダをゴミ箱に移動する

3 デスクトップ上で、メニューの [Finder] ▶ [ゴミ箱を空にする] を選ぶ

➔ ソフトウェアが削除されます。

4 パソコンを再起動する

この使用説明書について

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ソフトウェアの仕様および、本書の内容を予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載しているソフトウェアの画面や表示文言は、実際のソフトウェアと微小に相違することがあります。
- ソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

登録商標について

- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh は、米国および他の国で登録された米国アップル社の商標です。
- Google™ 、Google マップ ™ および Google Earth™ は Google Inc. の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

EOS DIGITAL 用ソフトウェアに関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90002

受付時間：9：00 ～ 18：00
（1 月 1 日～ 1 月 3 日は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556 をご利用ください。
※ IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

この使用説明書は、2017 年 5 月に作成したものです。それ以降に発売された製品との組み合わせにつきましては、上記のお客様相談センターにお問い合わせください。